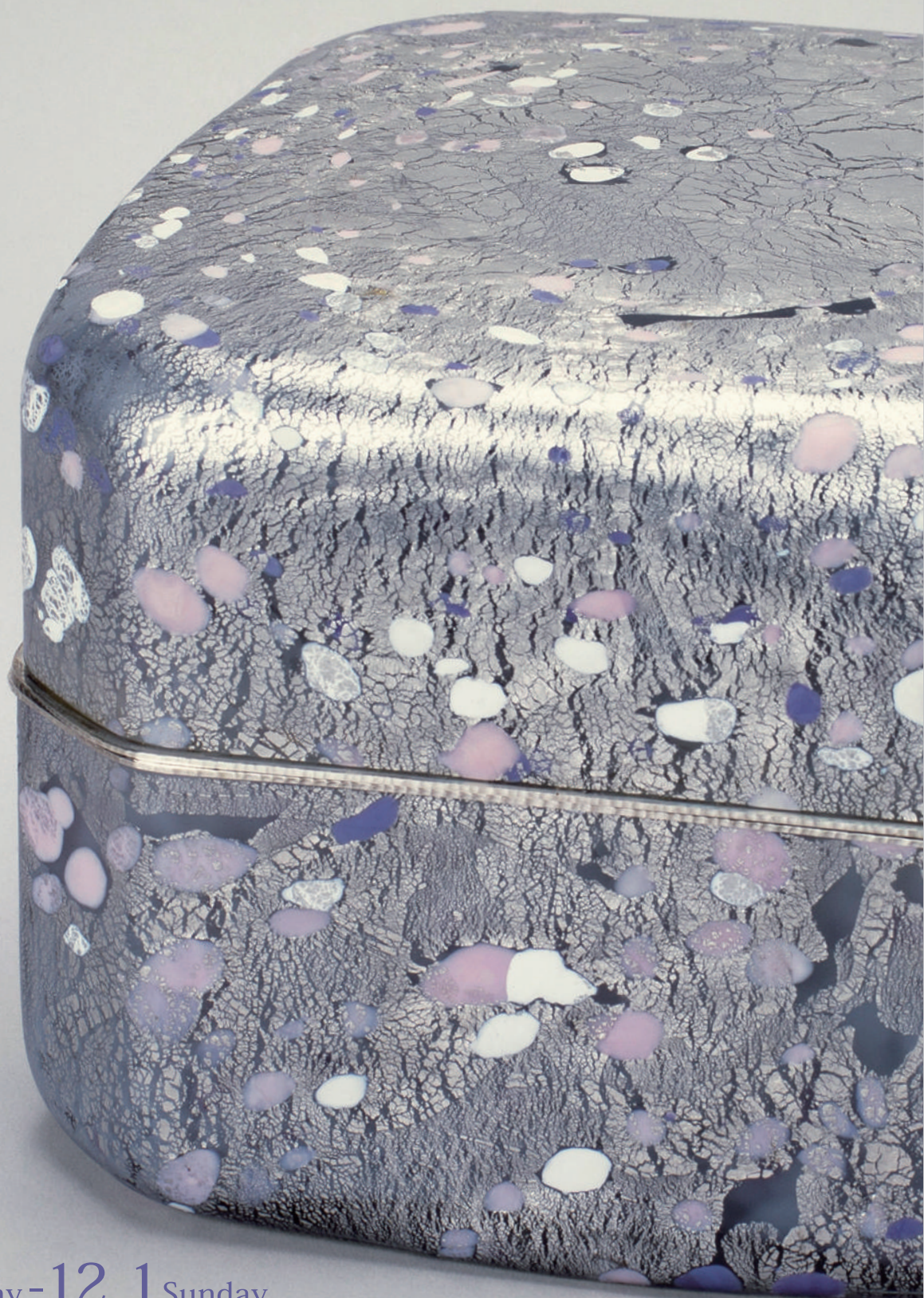


藤田喬平 創作の軌跡

FUJITA Kyohpei | tracing his creation



2019.10.5 Saturday - 12.1 Sunday

会場：石川県能登島ガラス美術館 展示室 A・D

開館時間：午前9時～午後5時 ※12月から午前9時～午後4時30分 ※入館は閉館の30分前まで

休館日：10月15日(火)、11月19日(火)

観覧料：個人(高校生以上) 800円、団体(20名以上) 700円、中学生以下無料

主催：石川県能登島ガラス美術館(公益財団法人七尾美術財団)

後援：七尾市教育委員会、NHK金沢放送局、北陸放送、石川テレビ放送、テレビ金沢、HAB北陸朝日放送
エフエム石川、ラジオななお

協力：千葉県立美術館、富山市ガラス美術館 ※50音順

飾皿「室町」(部分)/1996年頃/千葉県立美術館蔵



石川県能登島ガラス美術館
NOTOJIMA GLASS ART MUSEUM



ヴェニス花瓶／1996年／千葉県立美術館蔵

藤田喬平(1921-2004年)は、戦後日本のガラス芸術を切り開いた本国を代表するガラス作家の一人です。東京美術学校(現東京藝術大学)で彫金を学び、卒業後はデザイナーとして勤めるも、学生時代から関心のあったガラスの道へと進むことを決意し、岩田工芸硝子に入社。2年後に独立し、作家としての活動をスタートさせます。

藤田の代表作「飾筥」は、琳派の作品にみる形や装飾美から着想を得て制作されたシリーズです。日本の伝統的美意識をガラスという素材で表現した革新的な造形は、国内だけでなく海外でも高い評価を受けました。77年からはイタリアでの制作を開始。ヴェネチアン・ガラスの伝統技法を取り入れた花器などの「ヴェニス」シリーズを発表します。このような藤田の作品には、それぞれの国の伝統や造形手法をベースにしながら、作家が自らの感性によって再構築した独自の形や色彩表現をみてとることができます。84年には、ヴェニスの職人とともに制作した「オブジェ」の大作を発表。流動するガラスの性質を最大限に引き出して作られる彫刻的な造形は、自身の作品世界を広げる挑戦的な創作でもありました。

本展では「飾筥」、「ヴェニス」、「オブジェ」の3つの作品群を軸に、ガラス作品約50点と制作に用いたスケッチをあわせて展示。制作に対する姿勢や思考の一端をたどり、飽くなき創作意欲によって生み出された独自の表現と造形の魅力を紹介します。

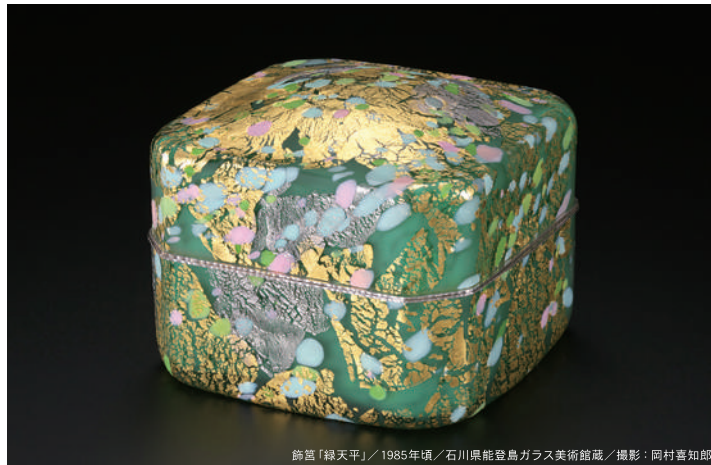
藤田喬平 創作の軌跡

FUJITA Kyohpei | tracing his creation

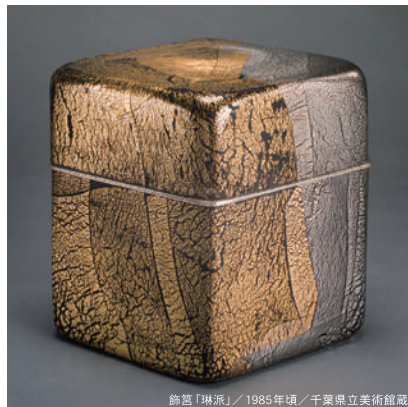


剛柔／1992年／石川県能登島ガラス美術館蔵

2019.10.5 Saturday - 12.1 Sunday



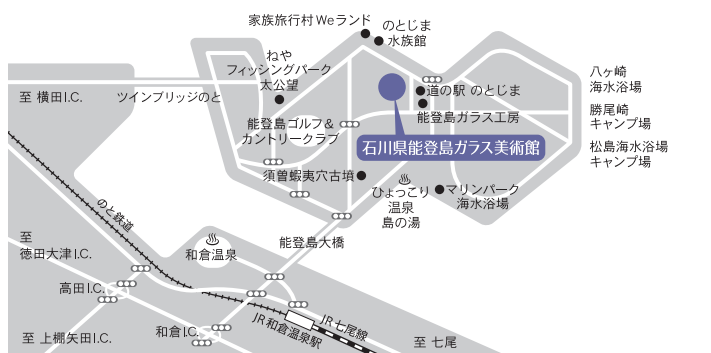
飾筥「緑天平」／1985年頃／石川県能登島ガラス美術館蔵／撮影：岡村喜知郎



飾筥「琳派」／1985年頃／千葉県立美術館蔵



ヴェニス賛歌／1983年／千葉県立美術館蔵



交通案内 ○電車・バス／JR金沢駅から和倉温泉駅まで特急列車で約1時間、駅前から能登島交通「のとじま臨海公園ゆき」バスで約30分、「美術館前」下車すぐ
○車／金沢方面から…のと里山海道・徳田大津JCTを経由、能越自動車道・和倉ICから約20分 富山方面から…能越自動車道・水見ICを経由、七尾ICから約35分
○飛行機／のと里山空港から車で約1時間

絵本のじかん～絵本で感じる作品世界～

日 時：10月13日(日) 14:00～/所要時間 約40分
会 場：美術館敷地内
参加費：無料(別途入館料必要)
定 員：20名程度(申込不要)

オリジナルカラーのジェルキャンドルづくり

日 時：11月23日(土・祝)、24日(日)
各日①10:00～11:30 ②13:30～15:00/所要時間 約40分
※上記時間までに会場にてお申込みください。
会 場：美術館会議室
参加費：500円(別途入館料必要)
対 象：どなたでも ※材料がなくなり次第終了

展覧会関連プログラム

お問合せ／石川県能登島ガラス美術館
〒926-0211 石川県七尾市能登島向田町125部10番地
Tel 0767-84-1175 Email: glass@nanao-af.jp

石川県能登島ガラス美術館
NOTOJIMA GLASS ART MUSEUM